## 一般会計

# 1.総括

歳入決算額 (単位∶千円)

- Γ /\	平成19年	F度	平成20年	-	増	減
分 分	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
1 村 和	<b>770,173</b>	16.4	754,826	16.1	15,347	2.0
2地 方譲 与 私	102,397	2.2	98,542	2.1	3,855	3.8
3利 子 割 交 付 会	2,328	0.0	2,520	0.1	192	8.2
4配 当 割 交 付 会	1,927	0.0	699	0.0	1,228	63.7
5株式等譲渡所得割交付金	1,023	0.0	197	0.0	826	80.7
6地方消費税交付金	60,493	1.3	54,545	1.2	5,948	9.8
7自動車取得税交付金	41,409	0.9	36,666	0.8	4,743	11.5
8地方特例交付金	3,706	0.1	7,846	0.2	4,140	111.7
9地 方 交 付 和	2,183,957	46.6	2,307,412	49.1	123,455	5.7
10 交通安全対策特別交付金	1,615	0.0	1,382	0.0	233	14.4
11分担金及び負担金	43,891	0.9	41,140	0.9	2,751	6.3
12 使 用 料 及 び 手 数 *	95,887	2.0	94,166	2.0	1,721	1.8
13 国 庫 支 出 🕏	166,029	3.5	320,729	6.8	154,700	93.2
14 県 支 出 🕏	221,930	4.7	244,471	5.2	22,541	10.2
15 財 産 収 )	16,088	0.3	10,065	0.2	6,023	37.4
16 寄 附 会	900	0.0	2,751	0.1	1,851	205.7
17 繰 入 金	54,894	1.2	44,381	0.9	10,513	19.2
18 繰 越 🙃	77,380	1.7	84,849	1.8	7,469	9.7
19 諸 収 /	224,192	4.8	144,586	3.1	79,606	35.5
20 村 信	<b>614,300</b>	13.1	449,100	9.6	165,200	26.9
合 計	4,684,519	100.0	4,700,873	100.0	16,354	0.3

歳出目的別決算額 (単位:千円)

	X		分			平成19年	<b>E</b> 度	平成20年	F度	増	減			
			))			決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率			
1 議		ź	<u></u>		費	62,923	1.4	59,798	1.3	3,125	5.0			
2 総		矛	务		費	511,253	11.1	414,489	9.2	96,764	18.9			
3 民		<b>±</b>	Ė		費	715,563	15.6	756,823	16.7	41,260	5.8			
4 衛					生			費	285,616	6.2	262,300	5.8	23,316	8.2
5 農	林	水	産	業	費	283,675	6.2	315,159	7.0	31,484	11.1			
6 商	エ	ÿ	÷	働	費	513,418	11.2	337,337	7.4	176,081	34.3			
7 土		7	<b>k</b>		費	550,218	12.0	468,476	10.3	81,742	14.9			
8 消		ß	方		費	198,948	4.3	232,623	5.1	33,675	16.9			
9 教		Ĩ	ì		費	626,078	13.6	846,697	18.7	220,619	35.2			
10 災	害	13	夏	旧	費	2,266	0.0	1,113	0.0	1,153	50.9			
11 公		債	責		費	849,712	18.5	833,615	18.4	16,097	1.9			
12 諸	3	支	Н	1	金	0	0.0	0	0.0	0	-			
	合		計			4,599,670	100.0	4,528,430	100.0	71,240	1.5			

### 〔地方財政状況調査との調整〕

総務省の地方財政状況調査数値には、次の調整を行って報告しています。

(単位:千円)

### 1)歳入

	X		分			誹	整	額
11	分担	金瓦	ひび	負	担金	È	34	,833
12	使用	料及	ひび	手	数料	1	36	,727
13	围	庫	支	出	金	À L		54
14	県	支	Ŀ	出	金	Ž	20	,000
19	諸		収		λ		2	,574
20	村				信	į	11	,500
	合		計	-			32	,126

## 2) 歳出(目的別)

	[	×	5	ή		調	整	額
1	議		숝		費		1	,854
2	総		務		費		23	,786
3	民		生		費		1	,709
4	衛		生		費		16	,269
5	農	林刀	火 薠	業	費		5	,085
6	商	I	労	働	費		19	,092
7	土		木		費		32	,278
9	教		育		費			375
11	公		債		費		20	,000
	É	ì	Ì	it			32	,126

## 3)歳出(性質別)

	X	分		調整額
1	人	件	費	20,847
2	物	件	費	626
5	補	助費	等	84,218
9	公	債	費	20,000
10	繰	出	金	53,565
	合	計		32,126

## (注)各区分の合計欄の増減額の内訳は次のとおりです。

歳入 ·後期高齢者保健事業受託収入 626千円 ·過疎対策事業債(公共下水道) 31,500千円 歳入 ·特定健康診査委託料 626千円 ·公共下水道事業特別会計繰出金 31,500千円

### 歳入決算額(地方財政状況調査報告数値)

			,				平月	戈 19	9 年	度	平月	式 2	:0 年	度		埠	<u> </u>	<del>(一)</del> 洞		
		X		分			決 算	額	構成	t tt	決 算	額	構	成 比	増	減	額	増	減	率
1	村					税	770	,173		16.9	754	,826		16.2	2	15	,347			2.0
2	地	方	譲	ŧ	与	税	102	,397		2.3	98	,542		2.1		3	,855			3.8
3	利	子	割	交	付	金	2	,328		0.1	2	,520		0.1			192			8.2
4	配	当	割	交	付	金	1	,927		0.0		699		0.0	)	1	,228		(	63.7
5	株:	式等誦	渡所	待	朝交付	1金	1	,023		0.0		197		0.0	)		826		(	30.7
6	地	方消	費	税	交 付	金	60	,493		1.3	54	,545		1.2	2	5	,948			9.8
7	自	動車	取得	,稅	交 付	金	41	,409		0.9	36	,666		0.8	3	4	,743			11.5
8	地	方:	诗 伢	」 玄	を付	金	3	,706		0.1	7	,846		0.2	2	4	,140		1	11.7
9	地	方	交	5	付	税	2,183	,957		48.0	2,307	',412		49.4		123	,455			5.7
10	交:	通安全	対策	特別	引交付	金t	1	,615		0.0	1	,382		0.0			233			14.4
11	分	担金	泛及	び	負 担	金	7	,811		0.2	6	,307		0.1		1	,504			19.3
12	使	用料	及	び・	手 数	料	133	,522		2.9	130	,893		2.8	3	2	,629			2.0
13	国	庫	支	Ī.	出	金	166	,747		3.7	320	,783		6.9		154	,036		(	92.4
14	県	3	支	出	1	金	205	,023		4.5	224	,471		4.8	3	19	,448			9.5
15	財	Ī.	<b></b>	4)	<b>X</b>	入	16	,088		0.4	10	,065		0.2	2	6	,023		(	37.4
16	寄		附	đ		金		900		0.0	2	,751		0.1		1	,851		20	05.7
17	繰		λ			金	54	,894		1.2	44	,381		1.0	)	10	,513		•	19.2
18	繰		起	<u>t</u>		金	77	,380		1.7	84	,849		1.8	3	7	,469			9.7
19	諸		ЦУ	ζ		入	221	,170		4.9	142	,012		3.0	)	79	,158			35.8
20	村					債	497	,900		10.9	437	,600		9.4		60	,300			12.1
		合		計			4,550	,463	,	100.0	4,668	,747		100.0	)	118	,284			2.6

(単位:千円)

			決	算	 額	財		į	 内	訳	増	減
[2	X	分	平成19年度	平成20年度	構成比	国県支出金	使用料 手数料 負担金 寄附金	地方債	その他	一般財源	増減額	増減率
1 議	会	費	61,029	57,944	1.3					57,944	3,085	5.1
2 総	務	費	534,878	438,275	9.7	22,540	5,717	1,200	6,543	402,275	96,603	18.1
3 民	生	費	714,056	755,740	16.8	135,198	41,964		3,957	574,621	41,684	5.8
4 衛	生	費	255,452	245,405	5.5	3,593	9,431	6,900	6,697	218,784	10,047	3.9
5 農	林水	産業費	278,635	310,074	6.9	115,872	2,994	24,200	3,543	163,465	31,439	11.3
6 商	工労	働費	496,662	318,245	7.1		55,156	20,000	100,902	142,187	178,417	35.9
7 土	木	費	420,842	436,198	9.7	26	1,768		2,315	432,089	15,356	3.6
8 消	防	費	198,947	232,623	5.2	10,472		14,800	141	207,210	33,676	16.9
9 教	育	費	635,135	847,072	18.8	235,684	2,282	224,300	42,219	342,587	211,937	33.4
10 災	害復	旧費	2,266	1,113	0.0					1,113	1,153	50.9
11 公	債	費	867,712	853,615	19.0		16,427		29,522	807,666	14,097	1.6
12 諸	支	出金	0	0	0.0						0	0.0
É	<u></u>	計	4,465,614	4,496,304	100.0	523,385	135,739	291,400	195,839	3,349,941	30,690	0.7
	<b></b> 表入振替			0		21,869	4,212	146,200	85,468	257,749		
	余金又Ⅰ \繰上充	は翌年度  用金		172,433						172,443		
方	<b>表入決算</b>	額		4,668,737		545,254	139,951	437,600	281,307	3,264,635		

# 歳出性質別決算額の財源内訳(地方財政状況調査報告数値)

		決	 算	 額	財		į	 内	訳		減
×	公 分	平成19年度	平成20年度	構成比	国県支出金	使用料 手数料 負担金 寄附金	地方債	その他	一般財源	増減額	増減率
1人	件 費	770,654	755,349	16.8	25,970	32,319			697,060	15,305	2.0
2 物	件費	559,458	746,497	16.6	19,496	82,218		19,939	624,844	187,039	33.4
3 維	持補修費	115,904	91,364	2.0		37		160	91,167	24,540	21.2
4 扶	助費	174,647	171,601	3.8	90,191			4,172	77,238	3,046	1.7
5 補	助費等	515,114	323,476	7.2	20,030	2,287		1,473	299,686	191,638	37.2
6 公	債 費	867,712	853,615	19.0		16,427		29,522	807,666	14,097	1.6
7 積	立 金	128,411	6,457	0.1		2,451		3,779	227	121,954	95.0
8 投 i	資及び出資金	0	1,200	0.0					1,200	1,200	0.0
9 貸	付 金	101,000	107,000	2.4			20,000	87,000		6,000	5.9
10 繰	出 金	540,909	609,237	13.5	32,925			194	576,118	68,328	12.6
11 普 i	通建設事業費	689,539	829,395	18.4	334,773		271,400	49,600	173,622	139,856	20.3
うち	補助事業費	343,336	544,109	12.1	322,235		218,500		3,374	200,773	58.5
うち		340,238	270,787	6.0	12,538		52,900	49,600	155,749	69,451	20.4
う ? 負	5 県 営 事 業 担 金	5,965	14,499	0.3					14,499	8,534	143.1
12 災害	害 復 旧 事 業 費	2,266	1,113	0.0					1,113	1,153	50.9
⟨II	計	4,465,614	4,496,304	100.0	523,385	135,739	291,400	195,839	3,349,941	30,690	0.7
蒜	入振替額				21,869	4,212	146,200	85,468	257,749		
	余金又は翌年度 、繰上充用金		172,443						172,443		
蒜	入決算額		4,668,747		545,254	139,951	437,600	281,307	3,264,635		

### 2. 予算執行の概況

平成20年度の一般会計当初予算は、46億4,850万円でしたが、途中7回の補正を行い、最終予算の総額は当初予算を15.0%上まわる53億4,500万円となりました。

(単位:千円)

その経過は次のとおりです。

第2表 平成20年度の予算措置の経過

当初・補正	議決年月日等	予算額	左のうち一般財	備考
			源	
当初	H20. 3.21	4,648,500	3,374,019	
補正1号	H20. 6.19	71,300	26,641	予算総額 5,345,000 千円のうち
補正 2 号	H20. 7.17	1,330	1,330	419,007 千円をH21 年度へ継
補正3号	H20. 9.19	20,870	15,821	続費として逓次繰越し、
補正 4 号	H20.12.19	414,000	38,194	297,880 千円を繰越明許費とし
補正5号	H21. 2.17	278,300	23,000	て繰越しています。
補正6号	H21. 3.10	3,600	5,058	
補正7号	H21. 3.31 専決	85,700	25,067	
	計	5,345,000	3,509,130	
19 年度網	燥越明許費	9,600	9,600	
合	計	5,354,600	3,518,730	
20 年度	繰越明許費・継	716,887	61,352	
続費				
(H21年月	度へ繰越)			

出納閉鎖後に確定した一般会計の決算額は、

歳 入 47億87万3千円(前年度46億8,451万9千円)

歳 出 45億2,843万円(前年度45億9,967万円)

で、前年度と比べると歳入は0.3%(1,635万4千円)増加し、歳出は1.6%(712万4千円)減少しました。

#### 3. 歳入の状況(地方財政状況調査報告数値で説明)

### (1)概 況

平成 20 年度の歳入決算額の内訳をみますと、地方交付税が 23 億 741 万 2 千円で全体の 49.4%を占め第 1 位、第 2 位は村税で 16.2%、そして村債が 9.4%で第 3 位となっています。

村税などの自主財源は 11 億 7,608 万 4 千円で、前年度より 1 億 585 万 4 千円(8.3%)の減少となりました。

歳入決算額に占める自主財源の割合は前年度 28.3%でしたが、平成 20 年度は 25.2%で 3.0 ポイント減りました。これは、村税が 1,534 万 7 千円(2.0%)減少したほか、スキー場現状回復費受入などの諸収入が 7,915 万 8 千円(35.8%)減少したためです。

なお、一般財源総額は地方交付税が増えたことで、1.8%増の35億2,238万4千円となりました。

	X	分		平成19年度	平成20年度	増減額	増減率	決算額 構成比
	村		税	770,173	754,826	15,347	2.0	16.2
	分 担	金及び負	担金	7,811	6,307	1,504	19.3	0.1
	使用	料及び手	数 料	133,522	130,893	2,629	2.0	2.8
	財	産 収	入	16,088	10,065	6,023	37.4	0.2
自主財源	寄	附寸	金	900	2,751	1,851	205.7	0.1
	繰	入	金	54,894	44,381	10,513	19.2	0.9
	繰	越	金	77,380	84,849	7,469	9.7	1.8
	諸	収	入	221,170	142,012	79,158	35.8	3.0
		合 計		1,281,938	1,176,084	105,854	8.3	25.1
		方 交 付	税	2,183,957	2,307,412	123,455	5.7	49.4
		庫 支 出	金	166,747	320,783	154,036	92.4	6.9
依存財源	県	支出	金	205,023	224,471	19,448	9.5	4.8
以计划派		5 譲 与 移		214,898	202,397	12,501	5.8	4.4
	村		債	497,900	437,600	60,300	12.1	9.4
		合 計		3,268,525	3,492,663	224,138	6.9	74.9

# 第4表 一般財源の推移(地方財政状況調査報告数値)

(単位:千円)

区八	亚代化安	亚产40年	亚产红在	亚世40年帝	亚产40年帝	亚产00左车	対前年度	建増減
区分	平成15年度	平成10年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	増減額	増減率
村税	766,054	746,935	733,679	729,240	770,173	754,826	15,347	2.0
地方譲与税	103,116	122,859	133,709	154,033	102,397	98,542	3,855	3.8
地方消費税交付	61,611	67,888	62,471	63,348	60,493	54,545	5,948	9.8
自動車取得税交付金	43,169	46,291	45,575	45,580	41,409	36,666	4,743	11.5
地方交付税	2,247,538	2,167,944	2,180,443	2,107,574	2,183,957	2,307,412	123,455	5.7
繰 入 金   繰 越 金	32,489	11,231	16,057	22,387	53,845	3,218	50,627	94.0
	57,442	69,461	91,997	67,272	65,812	75,249	9,437	14.3
減税補てん債	5,400	4,900	5,000	3,500	0	0	0	0.0
臨時財政対策債	369,600	251,500	194,600	172,100	156,100	146,200	9,900	6.3
そ の 他	72,512	32,322	39,723	40,482	26,096	45,726	19,630	75.2
合 計	3,758,931	3,521,331	3,503,254	3,405,516	3,460,282	3,522,384	62,102	1.8

## 第5表 地方交付税の推移

(単位:千円)

年度	基準財政需要額	基準財政収入額	交付基準額	調整額	普通交付税	増減率	特別交付税	増減率
15	2,795,302	759,569	2,035,733	5,313	2,030,420	4.5	217,118	11.2
16	2,717,235	761,694	1,955,541	0	1,955,541	3.7	212,403	2.2
17	2,812,409	765,608	2,046,801	0	2,046,801	4.7	133,642	37.1
18	2,764,049	788,456	1,975,593	0	1,975,593	3.5	131,981	1.2
19	2,840,958	779,164	2,061,794	4,859	2,056,935	4.1	127,022	3.8
20	2,923,271	750,993	2,172,278	1,282	2,170,996	5.5	136,416	7.4

## 第6表 村税の推移

区分	亚代45年度	平成16年度	亚代47年度	亚出10年度	亚代40年度	立代の生産	増洞	苋
[ [ ]	十八八十万	十八10千反	十八八十反	十八10十反	十八四十反	十成20千反	増減額	増減率
村民税	148,317	143,153	147,021	162,006	215,926	215,797	129	0.1
固定資産税	542,088	528,955	514,180	495,153	484,750	473,456	11,294	2.3
入湯税	21,525	19,898	19,818	19,874	18,753	18,145	608	3.2
その他の税	54,124	54,929	52,660	52,207	50,744	47,428	3,316	6.5
合 計	766,054	746,935	733,679	729,240	770,173	754,826	15,347	2.0

# (2)歳入決算額に現れた特徴点(対前年度 10%以上の増減があったもの)

区分	対前年度	増減率	増減の主な原因
	増減額		
各種交付金	11,171	10.4	·自動車取得税交付金( 41,409 36,666)
			·地方消費税交付金 5,948( 60,493 54,545)
地方特例交付金	4,140	111.7	・減収補てん特例交付金 2,821(皆増)
等			・地方税等減収補てん臨時交付金 1,484(皆増)
国庫支出金	154,036	92.4	·統合小学校建設事業関係 232,022(皆増)
			·中学校耐震補強·大規模改修事業関係 98,160(皆減)
繰入金	10,513	19.2	·老人保健特別会計過年度精算繰入 50,802( 52,645 1,843)
			·教育施設整備基金繰入 40,000(皆増)
その他(主なもの)			・スキー場現状回復費受入(諸収入) 75,000(皆減)

### 4 . 歳出の状況(地方財政状況調査報告数値で説明)

#### (1)目的別決算の状況

目的別決算額では、公債費が8億5,361万5千円で全体の19.0%を占め第1位、教育費が第2位で18.8%、そして第3位が民生費で16.8%、以下、総務費、土木費、商工労働費、農林水産業費、衛生費の順となっています。

なお、前年度比で増減が大幅な費目は次のとおりです。

教育費は、統合小学校建設事業等によって33.4%(2億1,193万7千円)が増えています。

災害復旧費は、該当事業が大幅に減ったため50.9%(115万3千円)、商工労働費は道の駅周辺整備事業の終了などによって35.9%(1億7,841万7千円)、総務費は携帯電話中継局整備事業の終了や財政調整基金などの積み立てがなかったことによって18.1%(9,660万3千円)、それぞれ減額となりました。

### (2)性質別決算の状況

性質別決算額では、公債費が全体の 19.0%を占め第 1 位、第 2 位が普通建設事業費で 18.4%、第 3 位が人件費で 16.8%の順となっています。義務的経費は、1.8%(3,244 万 8 千円)の減となりました。人件費は退職者の不補充等で抑えました。

投資的経費のうち普通建設事業費は、統合小学校建設事業などによって 20.3% (1 億 3,985 万 6 千円) の増額となりました。

物件費は33.4%(1億8,703万9千円)の大幅増となり、補助費等は37.2%(1億9,163万8千円)の大幅減となりました。これは、岩船地域広域事務組合で処理していた事務経費等(村からは補助費等として負担金を支出)が、組合解散によって村上市への委託(物件費として支出)になったことによります。

繰出金は、12.6% (6,832万8千円)の増となりました。公債費に係る分として公共下水道事業特別会計繰出金が4,316万円、農業集落排水特別会計繰出金が1,015万1千円、それぞれ増えています。また、高齢者医療制度の改正によって、後期高齢者医療事業会計へ新たに9,323万6千円を繰出しています。

第7表 性質別経費の状況(地方財政状況調査報告数値)

区分	平成19年度	平成20年度	増減額	増減率	決算額構成比
義務的経費	1,813,013	1,780,565	32,448	1.8	39.6
うち人件費	770,654	755,349	15,305	2.0	16.8
うち扶助費	174,647	171,601	3,046	1.7	3.8
うち公債費	867,712	853,615	14,097	1.6	19.0
投資的経費	691,805	830,508	138,703	20.0	18.5
うち普通建設事業費	689,539	829,395	139,856	20.3	18.4
うち補助事業費	343,336	544,109	200,773	58.5	12.1
うち単独事業費	340,238	270,787	69,451	20.4	6.0
うち県営事業負担金	5,965	14,499	8,534	143.1	0.3
うち災害復旧事業費	2,266	1,113	1,153	50.9	0.0
その他の経費	1,960,796	1,885,231	75,565	3.9	41.9
うち物件費	559,458	746,497	187,039	33.4	16.6
うち補助費等	515,114	323,476	191,638	37.2	7.2
うち繰出金	540,909	609,237	68,328	12.6	13.6
歳出合計	4,465,614	4,496,304	30,690	0.7	100.0

# 第8表 人件費の内訳(地方財政状況調査報告数値)

(単位:千円)

	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	対前年度 増減率
1.議員報酬手当	38,806	38,173	38,713	33,057	31,479	4.8
2.委員等報酬	32,779	33,105	28,426	27,877	27,108	2.8
3.村長、副村長(助役)、 教育長給与	27,475	28,770	27,632	25,675	25,537	0.5
4.職員給	509,490	510,712	504,222	507,366	495,011	2.4
5.共済組合負担金	93,288	96,715	99,323	99,696	100,442	0.7
6.退職手当組合負担金	76,712	74,445	76,144	76,400	75,207	1.6
7.公務災害補償基金負担金	563	545	597	583	565	3.1
合 計	779,113	782,465	775,057	770,654	755,349	2.0

## 第9表 物件費の内訳(地方財政状況調査報告数値)

(単位:千円)

	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	対前年度 増減率
1.賃金	43,406	38,574	47,405	42,338	53,548	26.5
2.旅費	10,078	9,297	7,558	7,637	7,109	6.9
3.交際費	1,047	857	755	933	688	26.3
4.需用費	132,279	139,931	121,252	109,188	113,497	3.9
5.役務費	27,344	26,339	25,878	22,880	21,526	5.9
6.備品購入費	46,352	22,264	11,363	13,967	12,385	11.3
7.委託費	394,345	364,471	316,585	316,774	488,346	54.2
8.その他	71,350	57,548	53,744	45,741	49,398	8.0
合 計	726,201	659,281	584,540	559,458	746,497	33.4

# 第10表 補助費等の状況(地方財政状況調査報告数値)

(単位:千円)

区分	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	対前年度 増減率
1.一部事務組合負担金	281,443	275,555	273,210	278,762	39,220	85.9
2. 一部事務組合以外の 負担金	23,356	27,173	21,975	22,550	75,381	234.3
3.補助交付金	170,117	160,343	162,724	159,927	150,764	5.7
4.その他	52,390	68,237	65,607	53,875	58,111	7.9
合 計	527,306	529,308	523,516	515,114	323,476	37.2

# 第 11 表 村が単独で行う補助交付金(地方財政状況調査報告数値)

区分	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	対前年度 増減率
1.総務関係	34,493	32,560	31,108	29,224	24,383	16.6
2.民生関係	46,880	34,756	38,840	39,890	36,140	9.4
3.衛生関係	3,245	2,082	1,969	1,883	1,888	0.3
4.農林水産業関係	14,712	17,029	12,463	14,052	24,201	72.2
5.商工労働関係	22,694	29,412	31,272	32,894	32,183	2.2
6.土木関係	2,034	1,332	802	465	265	43.0
7.教育関係	9,688	6,925	8,080	5,809	9,611	65.5
8.その他	1,200	1,543	1,173	651	762	17.1
合 計	134,946	125,639	125,707	124,868	129,433	3.7

		X	分		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	対前年度 増減率%
普	通	建	設事	事業	1,207,663	432,784	616,290	689,539	829,395	20.3
	補	助	事	業	441,903	94,461	193,513	343,336	544,109	58.5
	単	独	事	業	736,558	312,466	411,315	340,238	270,787	20.4
	県営	事業	美負担	金	29,202	25,857	11,462	5,965	14,499	143.1
	受	託	事業	美 費						
災	害	復	旧	事業	245,642	214,351	28,993	2,266	1,113	50.9
	補	助	事	業	169,081	198,039	28,279	1,362	0	100.0
	単	独	事	業	76,561	16,312	714	904	1,113	23.1
		合	計		1,453,305	647,135	645,283	691,805	830,508	20.0

# 第13表 特別会計への繰出金の状況(地方財政状況調査報告数値)

(単位:千円)

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	対前年度 増減率%
国民健康保険会計	54,697	63,407	62,515	64,144	55,055	14.2
関川診療所会計	3,569	0	0	0	0	0.0
老人保健会計	69,734	84,821	119,530	76,120	6,530	91.4
後期高齢者医療事業会計	-	-	-	-	93,236	皆増
介護保険会計	103,109	103,980	118,716	117,821	127,755	8.4
村有温泉会計	0	0	0	0	0	0.0
宅地等造成会計	1,277	1,243	1,354	1,321	1,435	8.6
簡易水道会計	22,282	25,884	24,106	28,745	19,665	31.6
公共下水道会計	201,514	241,742	162,712	233,440	276,600	18.5
農業集落排水会計	168	24,480	6,443	18,616	28,767	54.5
合 計	456,350	545,557	495,376	540,207	609,043	12.7

## 第 14 表 公営企業会計繰出金の状況

(地方財政状況調査・公営企業決算統計調査報告数値)

	区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	対前年度 増減率%
資	本的収支に計上された繰出金	7,800	39,600	3,015	369	0	100.0
	うち安全対策事業出資金	7,800	39,600	2,700	0	0	0.0
収	益的収支に計上された繰出金	2,775	21,288	20,385	18,422	17,507	5.0
	うち基礎年金拠出金に係る公的 資金に要する経費	0	117	126	0	0	0.0
	うち児童手当に要する経費	0	0	0	0	0	0.0
	合 計	10,575	60,888	23,400	18,791	17,507	6.8

### 5 財務内容の分析

#### (1) 健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全化に資することを目的に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が平成19年6月に施行されました。これを受け、村では従来の実質公債費比率に加え、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率の4つの比率を算定しました。いずれも、国が示す基準比率を下回っており、法律に基づく財政再生計画等を策定する状況にはありません。

#### 実質赤字比率

一般会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。一般会計は黒字決算されて おり、該当ありません。

#### 連結実質赤字比率

一般会計のほか、すべての特別会計を含んだ実質赤字又は資金不足額の標準財政規模に対する比率。いずれの会計も黒字決算されており、該当ありません。

#### 実質公債費比率

村が負担する公債費の元利償還金等の標準財政規模に対する比率の3カ年平均。村の全会計のほか、一部事務組合等が起こした公債費の償還に充てたものも含めて算定したものです。

事業実施によって起債額が大きくなっている下水道事業会計などの特別会計繰出金も算出基礎に算入されるため、15.8%と比較的高くなっています。平成 18 年度からは、下水道資本費平準化債を活用して一般会計繰出金を抑えています。

なお、この比率は、平成 18 年度からの地方債協議制度移行に伴い、地方債の信用維持等の 観点からも用いられています。

第 15 表 実質公債費比率

		平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
÷=:	単 年 度	15.9	15.9	15.5
実質公債費比率	3ヵ年平均	16.8	16.8	15.8

18.0 以上になると起債の許可が必要。25.0 以上になると財政健全化計画と策定が必要。 35.0 以上になると財政再生計画の策定が必要となる。

#### 将来負担比率

村が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率で、平成 20 年度は 40.4% となりました。これは、村全会計の公債費残高と基金残高、債務負担行為に基づく将来負担 などから算定したものです。村が出資している自然環境管理公社や一部事務組合等への公債費の将来負担のほか、全職員の退職手当等も加味されています。

公債費の残高は 53 億円余りありますが、交付税算入率が高いため将来負担は低く抑えられています。また、第三セクターへの債務補償も含まれますが、自然環境管理公社分は皆無です。

なお、350.0%以上になると財政健全化計画の策定などが必要とされています。

#### (2)財政力指数

全国的にみて標準的な行政を行うための経費と、それを賄うために用意できる標準税率での 収入の比較を財政力指数といいます。本村は県平均を下回っており、かなり低い状態にありま す。

第16表 財政力指数

	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	県平均(19年度)
単年度指数	0.272	0.285	0.274	0.257	-
過去3ヵ年平均	0.274	0.279	0.277	0.272	0.545

### (3) 公債費比率等

地方債発行額の増に伴って公債費比率も平成 15 年度にピークを迎えましたが、平成 20 年度 は元利償還金の額が前年度と比較して約 1,400 万円減額となったことにより、1.2 ポイント低い 12.4%となりました。

第17表 公債費比率

区分		17 年度	18 年度	19 年度	20 年度
公債費比率	関川村	15.4	14.8	13.6	12.4
	県平均	14.7	14.2	13.5	-
起債制限比率 過去3ヵ年平均	関川村	12.0	11.6	11.3	10.5
	県平均	10.9	10.9	10.6	-

#### (4)経常収支比率

経常収支比率は、経常一般財源に占める経常経費に充てた一般財源の割合で、財政構造の弾力性を測る指数です。下水道特別会計への繰出基準の見直し等によって経常経費が増えていますが、20年度は分母となる普通交付税の経常一般財源が増加し、前年度よりも改善されました。第18表経常収支比率の推移 (単位:千円)

区分	17年度	18年度	19年度	20年度
	17 千/支	10千皮	13十1支	20千皮
経 常 的 収 入 A	3,366,650	3,292,862	3,375,677	3,462,286
経 常 的 経 費 B	3,170,204	3,186,214	3,252,213	3,259,892
経 常 的 一 般 財 源 C	3,050,187	2,990,581	3,049,845	3,135,072
経常的経費に充てた一般財源 D	2,804,325	2,851,089	2,907,381	2,911,614
経常的一般財源の余剰 C-D	245,862	139,492	142,464	223,458
経常収支比率 % D/C	(91.9)	(95.3)	(96.5)	(92.9)
展市以文儿学 70 D/C	86.3	90.0	91.8	88.7
経 常 収 支 比 率 の	(95.6)	(97.3)	(98.9)	(85.2)
岩船地域平均(単純) %	89.3	91.6	93.8	81.2
経常収支比率の	( -)	( -)	( - )	
県 平 均 %	87.4	88.4	91.3	
(参考)普通地方交付税	2,046,801	1,975,593	2,056,935	2,170,996
臨時財政対策債	194,600	172,100	156,100	146,200
減税補てん債	5,000	3,500	0	0
合 計	2,246,401	2,151,193	2,213,035	2,317,196

経常収支比率の()書き数値は、減税補てん債及び臨時財政対策債を経常一般財源等から除いた数値

第 19 表 費目別経常収支比率の推移(端数調整しない)

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	19年度県平均
1 人 件 費	22.4 %	23.1 %	22.4 %	21.2 %	26.3 %
2 物 件 費	12.0	11.9	10.8	16.6	13.4
3 維持補修費	3.4	2.4	3.6	2.8	3.1
4 扶 助 費	2.3	2.5	2.4	2.4	4.8
5 補 助 費 等	11.0	11.9	11.7	6.0	11.0
6 公 債 費	26.2	26.0	25.6	24.6	20.2
7 繰 出 金	8.9	12.2	14.2	15.1	12.3
計	86.3	90.0	91.8	88.7	91.1